

謹賀新年



昭和59年 新年号
(第389号)

新春を迎えて



対話と協調の明るい町づくりを

町長 甲斐誌朗

輝かしい新年を迎え、心からお慶び申し上げます。新しい年は、私達地方公共団体が住民の信頼を確保し、分権化の下における行政の担い手として、ふさわしいものに成長を遂げていくうえで、極めて重要な課題をかかえた年ではないかと存じます。

厳しい財政事情

即ち、危機的な状態となつて、国の財政を再建するための行政改革は、いよいよ本番となり、地方行政もその渦中に呻吟を余儀なくされる厳しい事態を迎えました。

これも、高度成長の波に乗って異状に膨脹した行政財政を見直し、時代に即した行政の円滑な運営を図るものでありまして、国民生活の各分野に一時的にもせよ痛みがあるのは、止むを得ないものとして受けとめ、皆が力を合わせてこの国家的な危機を、克服していかなければならないと存じており

ます。

又、このことは町の財政においても同様で、慢性的な財政難の中で借金財政に頼らざるを得ない状態にあります。私はこのように時にこそ、一つ一つの問題を的確に把握し、正しい判断とそこに創意工夫を加えることで、新たな時代にふさわしい適切な行政の展開に努めなければならないと、決意しているところであります。

昭和五十八年は、選挙に明け、選挙に暮れた年でもありませんが、私は四月の統一地方選挙において、町民多数の皆様方の御支持をいただき、町長に当選させていただきました。

以来八ヶ月を経過いたしました。町議会を始め町民各層の皆様方に御協力、御指導をいただいたお蔭で、当面の課題やまた将来の展望に向けての取り組みに、万全を期することができつつあることに、心から感謝をいたしておりました。

農林業振興対策

就任以来、最も力点を置いてきたことの一つに、産業の振興、わけても農林業振興対策があります。日米農産物貿易協議にもみられるとおり、農林業をめぐる情勢は誠に厳しく前途は多難であります。

然しながら、町行政が主導的な立場に立つて国や県との縦の関係を、そして農協や森林組合等との横の連携をより緊密にすることに、打前の途は開けるものと信じ、鋭意努力を重ねているところであります。

働く場づくり

このほか町民の働く場作りの問題、更にはこのことと関連の深い地域開発の問題についても、幾つかの具体的な進展を見ながら、引き続き意欲を燃やしているところであります。

福祉対策

又、忘れてならないことに、高令者をはじめとする、いわゆる弱者と呼ばれる方々に対する愛の手さしのべがあります。

福祉国家を指標する我が国においては、国がその立場で保護の手をさしのべてはおりますが、必ずしもそれで良いとはいいたしません。町民が同じ世紀に生きる人間として、生きる喜びを分かち合える環境を創りたいものだと思っております。

教育の振興

次に教育の振興については、あらためてその重要性を強調するまでもありませんが、新聞等で報道される少年非行、殊に校内暴力には胸が痛む思いです。

本町においては、有難いことにまだそのような事態はありませんが、決して気をゆるめてはなりません。

現代は、きわめて急速な進歩の時代であり、激動の時代であります。価値観の多様化からくる混乱の芽も一方においてはみられるからです。

物の豊かさが全てを金で、物で解決しようとする、安易な途を選ぶこととなるのでしようが、今こそ物質文明を統御する人間教育の

重要性を再認識し、家庭と学校、そして社会が力を合わせて、文教の町、東郷町にふさわしい新しい時代の教育をめざさねばなりません。

政治の基本理念

以上、施策の要点について述べましたが、私の町政執行の基本理念とするものは、対話と協調を基調にして、公平と平等の精神をもって行政を行うということであり

町民の汗と油の結晶である税金を基にして、施策を執行して行くのですから、行政は、町民全体のためのものでなければなりません。私心を去り、常に行政目的を意識しながら、効率の高い行政の執行に全力を挙げて行く所存であります。

何卒、変らぬ御支援をお願い申し上げますと共に、年の始めにあたり皆さんのご多幸をお祈り申し上げ新年の挨拶といたします。



新年のごあいさつ

議長 原田 昇



謹んで昭和五十九年の新春をお慶び申し上げます。

願ひますと、昭和五十八年は、中曽根内閣の初年度の年でありましたが、国内状況は行政改革の厳しい時局であり、又、選挙一色の年であったと思ひます。四年に一度の統一地方選挙の年で、県議会議員、市町村長、市町村議会議員選挙に続いて参議院議員選挙及び、県知事選挙まで行われ、十月十二日にロッキード事件の判決に端を発し、国会内で政治倫理の問題が起り議員辞職勧告決議案上程の取扱をめぐって、与野党の話し合いがつかずついに国民の審判を仰ぐべき衆議院の解散、総選挙となり、年末の忙しい中にも拘らず激しい選挙戦が全国各地で展開され、十二月十八日の投票により国民の審判が下つたのであります。

また、十一月中にかけて、各国首脳陣の来日、特に米国のレーガン大統領との会話の中で、日之出山

年頭所感

教育長 渡辺 邦彦



明けましておめでとうございませう。皆様には、おそろいお元気でよいお正月をお迎えになられたことと存じます。

年の始め、お正月という、やはり私どもの心の中に、すがすがしさを感ぜさせます。いつも見ている山も川も、あるいは、わが家

つつ、なお一層農林業の振興に創意工夫をこらし力を傾注していきたいと思ひます。

農林業従事者の生活が豊かになることが、ひいては商工業者の繁栄につながるものと信じます。

また、農工併進を進めるために企業誘致をはかり、雇用の場をつくり、町民の福利増進に寄与したいと考えます。

私たちは、町民から選ばれその

代表者として議会の構成員であることを常に念頭におき、是非々々主義を保ち、住みよい豊かな町づくりに最善の努力をしていきたいと決意している所でありませう。

今年はいよいよ、最良の年でありませうことを祈念し、今後共ご指導ご協力賜りますようお願い致します。

の庭さきの樹々にも、何か、ひときわ新鮮さを感じます。そして、ふるさとに生きる喜びを、ひしひしと感じます。

また、道で出合う人と、お互いに、「おめでとございませう」と交わすあいさつも、いつもと違った新たな心のふれあいを感じさせます。

すでに過ぎて行った昨日までの一年間。ふりかえれば、快晴の日もあつたし、嵐の日もありました。笑つた日もあつたし、なやんだ日もありました。「人生の荒波」とはよく言ったものです。しかし、その荒波もが

まんと努力で何とか乗り越えました。また、そのかけには、周囲の人々のあたたかい心の支えもあつたことでしょう。ふと気がついたらもう年の暮れ。そして、除夜の鐘を聞くうちに、新しい年となりました。

「今年こそ」と、人間だれしもが気分を新たにする正月。さて、私も縁あって、昨年九月から前任の木村映一教育長さんのあとを受けついで、東郷町の教育行政の仕事に就いていただくことになりました。そして、町議会、秋の文化祭行事、体育大会、社会教育講座、学校訪問等々、数多くの行事を通して、たくさんの方々とお会いすることもできました。

そういう中で、教育長として、しっかりと勉強しなくてはならないことがたくさんあることも認識しました。

今、世間一般の生活の中で、「思いやりの心」が相互に求められております。このことは、お互いの従来の生活の反省から、必然的に生まれてきたと考えられます。この、「思いやりの心」は、私どもが、お互いに明るい生活をしていく上にも、また、住みよい町づくりをすゝめていく上にも、なくてはならない要素であります。そしてまた、私達、おとなは現在の子ども達を思いやりのある人間に育てていくように心がけるべき大切な時期であります。

ども達です。「子どもは環境で育つ」と言われます。幸いにして、東郷町は、美しい山河を持つ恵まれた土地であります。子どもの教育にはすばらしい環境にあると言えましょう。

もうすぐ一年生

町教育委員会が、昭和五十八年十二月一日現在で調査した、昭和五十九年度の新入学予定児(昭和五十二年四月二日から昭和五十三年四月一日生)は次のとおりです。

- かしい伝統を持っており、幾多の人材も出ております。今までに積み重ねられてきた尊い実績と反省の上に立って、今後ますます進展するよう努力しなければならぬと覚悟をあらたにしているところでございます。
- 町民のみなさんご理解とご協力をお願いし、ご家庭のご多幸をお祈りいたしまして新年のあいさつといたします。
- 東郷小学校
- 地区 就学予定児 保護者続柄
- 小野田 橋口 良子 二男 長女
寺原 直史 信義 二男
戸澤 江美 久利 長女
畝原 泰明 芳實 長男
海野加奈子 幸育 長女
谷口 和馨 俊廣 二男
桑田 一 柳二 長男
飛高 衣里 郁朗 長女
木村 史子 孝太郎 長女
塩月 華 悌二 三女
畝原 絵美 修身 長女
佐藤 和美 義昭 二女
大賀 美佳 敏廣 二女
吉元 繁樹 久吉 長男
鶴田 豊和 次枝 長男
川本 友和 正雄 二男
植野 智恵 政秀 長女
池田 朋子 正信 三女
稲田 潤 重行 二男
寺原 幸美 光男 長女
吉野 新一 逸雄 長男

- 三原アキコ 正二 二女
鈴原真理子 義人 長女
畝原 瞳 辰雄 二女
中田 宏 憲一 二男
宮田 知依 幸男 長女
黒木 美紀 康夫 二女
佐藤 秀明 国光 長男
黒木 麻美 悟 二女
佐藤 祐一 富士男 長男
池田 康平 健一 二男
黒木 知子 美知夫 長女
寺原 直子 晴 二女
佐藤 由子 義公 長女
山口 智幸 実 長男
中村 純子 達男 二女
- 八重原 山口 純子 達男 二女
- 追野内 佐藤 祐一 富士男 長男
黒木 麻美 悟 二女
池田 康平 健一 二男
黒木 知子 美知夫 長女
寺原 直子 晴 二女
佐藤 由子 義公 長女
山口 智幸 実 長男
中村 純子 達男 二女
- 羽野 矢野 朋幸 陸男 二男
田坂 松原 陽三 美生 長男
小林めぐみ 辰蔵 長女
中田 秀敏 廣美 長男
寺田 亮一 勇 長男
寺原美香子 幸人 二女
黒木 早苗 佐吉 長女
川野恵美子 多賀男 長女
奈須 智恵 熊男 二女
- (福瀬小学校)
- 福瀬 直野 将司 正和 二男
小川 隆 良昭 二男
小林 梨枝 二幸 長女



- 平野 昌子 米蔵 二女
仁田 陽介 弘幸 二男
新名 麻美 敏文 二女
田辺 尚俊 英雄 三男
平野 俊幸 松嗣 二男
藤本 誠一 純一 長男
川越 洋二 えみ子 長男
川越 愛 昇 長女
高尾 秀光 廣光 長男
黒木 清悟 金市 長男
高尾 美恵 静信 二女
谷口 美寿 美代治 長男
金丸奈津美 月美 長女
黒木 裕子 忠明 長女
金丸めぐみ 猛 二女
- (坪谷小学校)
- 仲深 川越 月美 洋 長女
三浦 ユミ 誠 長女
矢野 咲子 誠 長女
高山 恵子 武久 長女
高山 明仁 武久 三男
松岡 克典 二美 長男
寺原 一成 仁一郎 長男
井伊 健友 守 二男
那須 洋平 成章 三男
三浦 康伸 定 長男
矢野 大志 国明 長男
井伊 夏 幸夫 長女
矢野 里恵 哲朗 長女
- (越表小学校)
- 越表 海野 綾子 正一 二女
黒木 拓弥 忠男 長男
阪本 里奈 起規 二女
- (寺迫小学校)
- 寺迫 海野 政人 清志 長男
高野 美咲 幸俊 長女
黒木 優子 廣道 長女

中央公民館 図書室だより

図書の利用

図書室の現況は、ただ今室内蔵書約四千冊となっております。

寄贈図書は、高森文夫、塩月儀市、矢野善助、中野郷司、海野久の各氏から百科事典、一般文学、全集物等あらゆる図書が寄贈されております。

尚、矢野善助氏からは数年前から度々数十冊づつ今も続けて寄贈をいただいております。町購入分には本年新刊図書もあり充実した図書室となりつつあります。

利用状況について、夏休み中は小・中学生が多く一般利用者も随次増えつつあります。

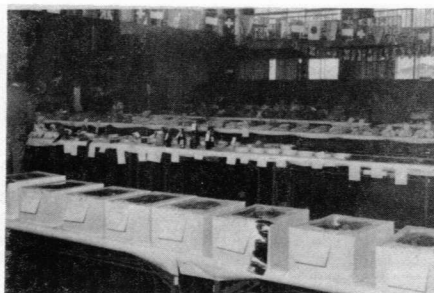
図書係では、皆さんの一人でも多くの利用があるよう、県立図書館からも五百冊ぐらい、逐次入れ替えをなし新しいものとしております。

貸出しについては、係に申出て一度登録をして自分の番号を定めさせていただきます。

教育委員会(図書係)

第三回産業祭 盛大に開催される

十一月二十五日から二十七日の三日間、中央公民館及び総合グラウンドに於て第三回産業祭が盛大に開催されました。



▲農産物展示コーナー

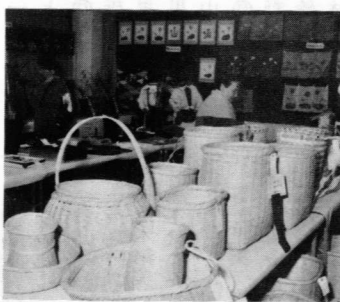
各部門別の優秀農家表彰者は次のとおりです。(敬称略)

- 複合部門 海野鉄朗 寺迫
和牛 関野安弘 福瀬
養豚 高木容子 福瀬
ブローラー 清水 樹 羽坂
果樹 田代安夫 寺迫
養蚕 黒木守人 鶴野内
養たばこ 黒木 均 鶴野内
椎茸 井脇 健 鶴野内
育林 三浦昭一 田野
池田平美 追野内
- 農林産品等展示会表彰者(敬称略)
- 果樹 海野光威
優等 黒木千年寺 橋口忠(寺)
二等 橋口忠孝寺 黒木元次(寺)三原一義(寺)
三等 清水辰夫(仲)伊東尚(鶴)黒木忠義(寺)那須龜雄(羽)田代久司(寺)
- まゆ 黒木常喜(寺)
優等 高尾広光(福)
一等 高尾武久(福) 塩月美義(鶴)
二等 高尾友治(福)古川緑(鶴)
三等 河野辰朗(越)
- 茶 黒木勝(迫)
一等 植田誠(羽)
二等 寺原節子(八)



▲企業コーナー

- 椎茸 関野敏郎(福) 浜辺憲太(郎)坪
優等 海野通(越)寺原昭一(八)川島定雄(坪)三浦幸生(仲)
二等 川島理利(仲) 黒木愛子(寺)
野菜 黒木忠光(迫) 黒木智栄子(寺)
優等 佐藤正一(迫) 橋口勝美(羽)横山雅臣(仲)植野誠(寺)寺原春子(坪)神山カラリ(福)海野武夫(羽)植野シカエ(寺)河野トヨ子(越)寺原節子(八)伊東ヨシ子(八)谷口ナツエ(田)矢野クラ(鶴)井脇チク枝(鶴)関野ベ(福)甲斐勉(福)橋口忠孝(寺)池田やす子(迫)
- 豆類 寺原節子(八)



▲老人作品展

- 老人作品展 優等 田口初治(田) 西村トシ(鶴)
一等 黒木市治(羽) 井上キミ(エ小)
二等 若藤稔(羽) 関野スエ子(小)
三等 都甲勇(小)酒井忠義(坪)小野ミキエ(羽) 寺原ミツエ(坪)



▲北海道物産展コーナー



▲農機具展示コーナー



▼公民館対抗歌合戦

青少年健全育成 標語決る

東郷町青少年健全育成町民会議では、昭和五十八年度の事業の一環として、青少年健全育成標語を募集した結果、七一点の応募がありました。審査の結果、

- 小学生の部
 - 一席 二席 二席 五席
 - 三席 十席
 - 中学生の部
 - 一席 二席 二席 五席
 - 三席 十席
 - 一般の部
 - 一席 一点 二席 一点
 - 三席 一点
- が入選いたしました。入選された標語の一部は、今後三角柱などを作成し、青少年の健全育成に対する意識の高揚に活用されます。

一席

あいさつはみんなで

明るく心をこめて

東郷小学校 五年 中竹 紹子

おはようと朝の

あいさつ元気よく

寺迫小学校 五年 植野いくみ

「はい」「いいえ」はつきり

言える子あかるい子

坪谷中学校 一年 古賀奈津代

食事にはみんなそろって

たのしい話題

東郷中学校 一年 一山 智道

しかるより親の

態度と思いやり

一般の部 舛田 菊美

成人おめでとう

大人としての責任を

五日は、町の成人式です。新しく成人となる人たちを、みんなで祝福いたしましょう。今年の新成人者は、昭和三十八年四月二日から昭和三十九年四月一日までに生まれた人達で、次のとおりです。

- ◎寺迫 田代まち子 渡辺久美
- 橋口美善子 黒木茂 吉岡今朝則
- 黒木知浩 田代典子 黒木繁美
- 黒木正 黒木岸子 黒木ひとみ
- 山本力
- ◎福瀬 関野敏郎 直野里美 直野和久 直野千枝美 直野みか
- 鈴木成美 河野透 松浦妙子 小林英明 小林環 長渡隆男 新名美喜子 田辺新 岩田弘美 海野ケイ子 川越美鈴 黒木道広 野別浩子 高尾岩男 高尾次男 金丸岳洋 岩田広子 岩本光一 岩田智子 塩月宏明 塩月理恵
- ◎小野田 畝原国昭 橋口静子
- 畝原洋一 甲斐有吉 東村直子
- 矢野順子 都甲真二 小林文子
- 矢野真弓 田村益美
- ◎鶴野内 上田智保美 三原和博
- 福谷広美 福谷淳三 黒木正代
- 黒木勇人 佐藤英司 中野登美子
- 平野徹 伊東健児 甲斐正紀 木下登志男
- ◎迫野内 歌津説雄 松尾昇一
- 池田信幸 黒木陽一 前田利幸
- 山田睦栄 藤田加代子 黒木重美
- 佐藤利美 黒木初美
- ◎八重原 藤崎和弘 甲斐美千代
- 池田隆二
- ◎田野 黒田義信 稲田幸人 川原淳子 稲田弘美 稲田由美子
- 中野久美子
- ◎羽坂 寺原光代 清水力 佐藤廷世 那須マチ子 福田さよ子
- 甲斐志磨
- ◎仲深 三浦善隆 田口真紀 三浦千幸 三浦とし子 佐藤郁美
- 川上求 矢野隆美 水野正子 矢野秀敏
- ◎坪谷 矢野志保 甲斐重徳 黒木幸代 矢野年枝 佐藤邦義 大野靖文 田中伸二 海野直美 稲田数代 那須美保 松本美奈子
- 矢野智穂子 下田道子 川野春美 那須祐美 矢野政子 三浦日出子
- ◎越表 海野高師 田中智代 平田嘉史 谷岡弘明 河野百合香
- 菊谷理恵子
- ◎下渡川 甲斐豊 甲斐吉弘



文部大臣賞を受賞

農協中央会主催（総理府・文部省等後援）の、昭和五十七年度第五回「米とごはん」と私」の作文コンクールにおいて、福瀬小学校六年、平野昭一君（現在東郷中一年）が文部大臣賞を受賞、また、

同校六年、谷口公彦君現在美々津中一年）が佳作入選をいたしました。

文部大臣賞を受賞した、平野昭一君の作文を紹介します。

溝口先生と米つぶ

福瀬小学校 六年 平野昭一



学校で放送委員をしている。その中のたん当は、インタビュ係だ。

きのうは、やさしくて、明るい、養護の溝口先生だった。そのインタビュを昼の給食の時に放送した。この学校の子どもをどう思っておられるかとか、どんな子どもになってもいいかなどを質問した。その後、

「溝口先生の好きな食べ物は何ですか。」
「先生は、よくのインタビュにまようこともなく、先生の好きなものは、ごはんつぶです。」
「先生のお話のためではないかと思つた。」
「溝口先生、きのうの続きをお願いします。」

「え、だるうとばかり、考えていたので、ぼくの子想は全くはずれてしまった。そこでしかたなく、」
「なぜ、ごはんつぶと言われたのですか。ふつうの言い方だったら、」
「ごはんつぶと言っているんです。」
「先生は、ごはんつぶと言いました。たけど、ほんとに、」つぶ」が好きなんですか。」
「その日は、月曜日であらう、給食のこん立は、ごはんだった。放送室から教室に帰って、ぼくもごはんを食べはじめた。いつもはよく残すごはんも、きょうは、だれ一人として、ごはんつぶを残していなかった。きつと、あの溝口先生のお話のためではないかと思つた。」
「そして、きょう、」
「溝口先生、きのうの続きをお願いします。」

「いします。米つぶが好きと言われましたね。ぼくも、少し、くだいのですが、もう少しお聞きします。米についての思い出を。」と、お聞きすると、
「私は、農家の生まれです。わたしが小さいころ、育ったところはねどこを見わたしても、田んぼばかりだったのよ。田おこしからなわしろ、田うえ、草とりなどといつもいつも米の姿を見てたのよ。だから先生はやっぱり米つぶが好きなの。」
「と幼いころを思い出すように言われた。」
「先生、米を食べると、先生みたくに明るく美人になるんですか。」とたずねると、先生は、こんどは「それね。米が健康によいというのにはたしかです。美人になるといふのは、わたしは、知りません。」と言われた。ここのインタビュのところで教室から、ワァーというわらい声が聞こえてきた。
「先生の生まれた所の米は、『えびの米』といってね、それは、おいしいのよ。なんでもすしごはんにはね、もってこいの米ということですよ。」
それから、何も質問しないのに、先生は、
「きつと今ごろは、むっちりしたイネがー。先生の好きなものは、やっぱり米つぶだわ。」
とおっしゃった。

成人祝賀ロードレース

成人の日を祝い、第四回成人祝賀ロードレース大会が開催されます。それぞれの体力に応じて、健康増進を目指して多数参加されますようお知らせいたします。

- 一、主催 東郷町・東郷町教育委員会・町陸上競技協会
- 二、期日 1月15日(日)
- 三、時間 8時30分 開会式 9時30分 スタート
- 四、集合場所 東郷小学校グラウンド
- 五、種目
 - ▽一、〇〇〇m 小学校五・六年生の女子 一般女子、五十歳以上の男子
 - ▽二、〇〇〇m 小学校の女子
 - ▽三、〇〇〇m 中学校の男子
 - ▽四、〇〇〇m 一般男子四十歳代
 - ▽五、〇〇〇m・一、〇〇〇m 一般男子三十歳代
 - ▽六、参加申込 一月九日(月)までに、町陸上競技協会事務局(役場内、寺原政志)または教育委員会(社会教育係)まで申込み下さい。ただし、小・中学生については、保護者の承諾書を必要とします。
 - ▽七、参加費 一日保険料として、一人100円を、参加申込みと同時に納入して下さい。



点描 (28)

親子の五分間対話(二)

「和夫、運動会は何月何日か。和夫は走りぐらは速いだろ。」
「運動会は〇月〇日だよ。ほくは三等位だ。あんまり速くないよ。お父さんは速かったー。」
「お父さんもあんまり速くなかった。でも、綱くぐりや足くびりとびでは一等をとったことがあるよ。」

東九州に高速道を 道路写真展の作品募集

東九州縦貫自動車道建設促進県央地部期成同盟会では、「東九州に高速道を」というテーマで、わたしたちの街の発展を支える道について強く訴えたいことを盛り込

土地や建物を売ったときの税金

税あれこれ

土地や建物を売ったときの利益を譲渡所得といい、この譲渡所得にも税金がかかります。譲渡所得に対する税金は、他の所得と分離して計算するなど、通常の計算方法とは異なっています。

一、譲渡所得の計算方法

譲渡価格(取得費+譲渡費用)-譲渡価額とは、売った土地や建物の売却代金です。

二、長期譲渡所得の税額の計算

長期譲渡所得(特別控除)課税譲渡所得金額 ときに、課税長期譲渡所得の金額に準じて、次のように税額を計算します。

三、短期譲渡所得の税額の計算

短期譲渡所得には、普通特別控除はありませんから、短期譲渡所得がそのまま課税短期譲渡所得となります。

「和夫、お父さん達も町長さんや、町会議員さんを選ぶ時も、和夫の言う通りの人をえらぶよ。」
「みんなの世話をしてくれる人がいいよ。」

「お父さんも、好きな友達と、いろいろな友達があったよ。だがきらいな友達だと言って、いじめたりなどしなかったよ。」

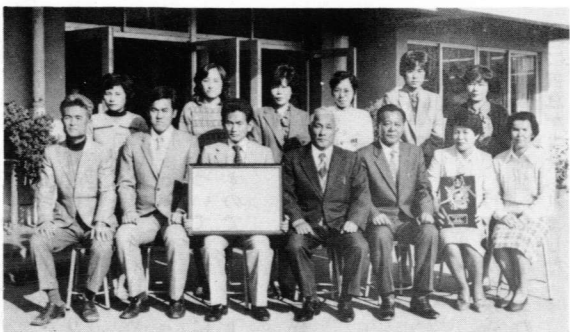
東郷町社会教育委員

▼白黒、カラープリントの単写真、組写真
▼サイズ「キャビネ版」以上「四ツ切」まで

日本標準教育賞を受賞して

寺迫小学校

この度、日本標準教育研究所より、本校の共同研究の「自らよく学びよく考える子どもを育てる学習指導法の実践的研究」の実践研究が大変積極的に、しかも学校の教育目標がよくあらわれた授業研究であり、その成果は優れたものであるという事で、この賞を受賞しました。



寺迫小学校の先生方

牧水と坪谷(21)

塩月 儀市

七、坪谷尋常小学校時代の牧水 牧水は学令に達した頃は父母と共に西郷村小川に住んでいた。小学校入学は田代尋常小学校だが、その年の十月に一家挙って坪谷に帰ったので、その後尋常科(当時は四年)卒業までは坪谷尋常小学校で学びました。当時の同級生、日高与吉氏は牧水の思い出を次のように語っています。

農業者年金支給停止に注意!!

農業者年金の経営移譲年金は、昭和五十一年より支給が開始されています。この移譲年金は、受給資格に制約があり、中には年金が受けられなかった人もいますので次の点にご注意下さい。

○支給停止になる事項

経営移譲年金は、受給者が次のことに該当すると支給停止となります。

●現況届を毎年3月31日までに農業委員会の証明を受けて、農業者年金へ送らない場合。

●経営移譲後、新たに農地を取得、借り受け、返還を受けて農業を再開したとき。

●後継者に貸した農地に、分家住宅を建てたり、農地以外の目的に使用したとき。

○支給停止にならない事項

次の場合は支給停止になりません。

●土地取用法によって取用されたときは、手続きをすればよい。

●農地を売却し買換えても一年以内に再び、経営移譲の手続きをとればよい。

●温室や農作業所などの農業用施設に転用するときは、事前に手続きをすればよい。

●詳しいことは、町農業委員会へお尋ね下さい。



消防始式

五十九年の消防始式は、一月七日(土)午前七時四十分から町グラウンドで開催されます。

当日は、各部の消防団員が全員出動し、規律訓練、機械器具等の点検、小型動力ポンプの操法競技が行われます。

このため、各部とも消防団員が不在になりますので、火の取扱いには充分気をつけるようにしてください。

幼稚園児募集

東郷、坪谷、寺迫各幼稚園の園児を次のとおり募集しますので、希望者は、町教育委員会事務局に申込み下さい。

- 一、入園資格
町内の通園可能な地区に居住する満四歳と満五歳の幼児
(昭和五十三年四月二日から昭

和五十五年四月一日生)、但し坪谷幼稚園については五歳児のみ募集します。

- 二、入園申込
入園申込書は、教育委員会事務局及び各幼稚園に準備してあります。
- 三、入園申込締切日
2月20日(月)
- 四、入園決定
三月中旬までに各人宛通知します。

行政相談

国の仕事をはじめ、国鉄・電々公社・専売公社・公庫・公団などの仕事、県・町などの仕事に対する苦情・要望などをとりあげて相談に応じています。当日以外は、自宅でも受付けています。(電話可)

- ▼日時 1月17日 9時～15時
- ▼場所 老人福祉館
東郷町仲深
- 行政相談委員 山口俊一

心配ごと相談

心配ごと相談を次のとおり開催します。ご遠慮なく相談してください。

- ▼日時 1月17日 9時～15時
- ▼場所 老人福祉館

一般健康相談

町内全域の成人男女を対象として次のとおり行います。特に成人検診の精密検診の未受検者、精密検診後継続的に経過観察の必要な方は是非ご利用下さい。

- ▼期日 1月21日
- ▼受付 9時30分～10時
- ▼場所 老人福祉館
- ▼内容 検尿、血圧測定、保健指導ほか

母子健康相談

次のとおり母子健康相談が行われます。

- ▼期日 1月24日
- ▼受付 9時30分～10時30分
- ▼対象 乳児(3・6・12ヶ月児)及び妊婦
- ▼内容 検尿(妊婦)、身体測定
保健指導ほか

固定資産

(土地・家屋)

の移動届出は早目に

固定資産税については、毎年一月一日を賦課期日として課税いたします。したがって、家屋の移動(所有権、取り壊し、新、増改築)土地の移動(例えば、台帳上は田でも現況は原野である)のある方

善意のともしび

忌明けとして、つぎのかたから町社会福祉協議会へ社会福祉のために善意がよせられました。厚くお礼申し上げます。

- ◎羽坂の寺原平美さんから(ミツエさん・60歳ご死去)
- ◎小野田の甲斐澄人さんから(ヲキさん・81歳ご死去)

まちのうごき

人口	6,471人 (2)
男	3,092人 (3)
女	3,379人 (△1)
世帯	1,773人 (△1)
58年12月1日現在	
()は対前月比	

戸籍たより

十一月届出分

出生おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	住所
寺原勇樹	孝治	鶴野内
寺原久美	良信	坪谷
古川直諒	廣幸	鶴野内
谷口由香里	美代治	福瀬

結婚おめでとう

氏名	住所
黒野 浩成	坪谷
沖田 江津子	日向市
兒玉 愛朝	延岡市
平塚 美寛	熊本市
那須 幸子	羽本市
三畝 里美	日向市

ご冥福を祈ります

氏名	年令	住所
寺原ミツエ	87	鶴野内
山本伊志夫	81	福野内
糸平留蔵	19	小野田
甲斐ヲキ	81	追野内
甲斐玉尾	80	

今月の納税
町県民税四期
国民健康保険税
六期